

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和3年11月25日（木）

午後1時00分 開会

午後1時52分 閉会

○ 場 所 第3常任委員会室

○ 出席委員（9名）

委員長	知名康司
委員	平安座武志
委員	又吉亮
委員	上里広幸
委員	真喜志晃一

副委員長	桃原功
委員	桃原朗
委員	栄田直樹
委員	宮城克
委員	—

議長	上地安之
----	------

○ 欠席委員（1名）

委員	石川慶
----	-----

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（2名）

基地政策部 部長	米須良清
-------------	------

基地渉外課 基地渉外係長	里村圭祐
-----------------	------

○ 議会事務局職員出席者（2名）

庶務課長	仲村厚子
------	------

主任主事	大城拓也
------	------

○ 協議案件

普天間飛行場所属 MV-22 オスプレイからの水筒落下事故について

基地関係特別委員会 会議録（要旨）

令和3年11月25日（木）

○知名康司 委員長 ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午後1時00分）

【協議事項】

本件の取扱いについて

○知名康司 委員長 招集請求委員から今回の招集について説明いただきたい。

○桃原功 委員 11月23日午後6時45分ごろに本市野嵩の住宅街にMV-22 オスプレイから水筒が落下した事故については、新聞報道等でも承知されていると思うが、本員も現場へおもむき確認をした。今回だけでなく、MV-22 オスプレイやCH53からの落下事故が頻発しており、市民の生命・財産が脅かされている現状がある。普天間飛行場の安全運航管理は重大なインシデントの状態にあると危惧している。昨日、市長も沖縄防衛局に対して抗議を行っており、議会も米側や防衛局等に対して抗議を行っていきたいと考えている。

○知名康司 委員長 本件の取扱いについて決定する前に市当局より現状を聴取したいと考えるがいかがか。

（「異議なし」という者あり）

○知名康司 委員長 異議なしと認めます。では、当局入室をお願いします。

（基地政策部担当者入室）

○知名康司 委員長 では、当局より今回の事故について説明をお願いいたします。

～基地政策部より資料に沿って事故の経緯等を説明～

○知名康司 委員長 質疑を許します。平安座武志委員。

○平安座武志 委員 23日の23時15分ごろ市議会議員より副市長へ連絡があったとあるが、落下地点付近の住民から市議会議員へ連絡があり、それを受けて副市長へ連絡があったのか。

○基地政策部長 住民の方が午後11時ごろに帰宅した際に玄関先に落下物があり、その確認後市議会議員へ連絡をしている状況である。

○平安座武志委員 どの報道であったか失念しているが、米側は日本側には通報をしっかりと行った旨の報道があったが、24日に市が沖縄防衛局へ通報した際には米側からは沖縄防衛局へ連絡はされていなかったのか伺いたい。

○基地渉外係長 それについては、防衛局からは特に回答がなく、市としてはこうい

う事象があったことを報告した。

○平安座武志委員 それについては防衛局からの返答がないという理解でよいか。

○基地渉外係長 こちらからの通報以前に米側から連絡があったかどうかについては、防衛局に照会をかけていない。

○平安座武志委員 通報の有無は大事であることから、確認は取ったほうが良いと考える。また、機体部品の落下は運用件数が増えれば少なからず起きるもので、国土交通省によれば、2019年国内においては928個の部品の欠落があったとされており、今回の事故は機体の問題ではなく、一個人の問題と考えているが、防衛局からの資料には航空機の運用に際しては、固定されていないものについては固定してから飛行すると読み取れる部分があるが、通常はそのように運用がなされているものなのか伺いたい。

○基地渉外係長 一部報道で、固定すべきものはするようにと安全点検を徹底して訓練を行ったとの報道を受けての質疑かと思うが、MV-22オスプレイの機体が、水筒を含め固定すべきものを通常固定すべきものなのかについては、まだ防衛局に対して未照会のため、可能な限り確認してまいりたい。

○平安座武志委員 その点はしっかり確認をお願いしたい。また、MV-22オスプレイの機体の構造上、水筒が落下するものなのか確認は取れているか。

○基地渉外係長 MV-22オスプレイの通常の運用及び機体構造がどうなっているのかについても米側に照会をかけたいとは考えているが、これまでも運用実態や訓練内容等について防衛局を通じて照会をかけたが、米側からは運用にかかわることであるため回答いたしかねるとのことだった。ただ、今回の事故に関しては、事象も事象であり再度照会をかけたい。

○平安座武志委員 今回は機体ではなく、個人のミスであり、どこから落ちたのかについてはしっかり米軍から回答を求めている。

○桃原功 委員 さきほどの経緯説明の中で、中身の入ったビール缶が落下したとあるが、そう言いきっている理由を伺いたい。

○基地政策部長 市議会議員から副市長にあった最初の報告がそのとおりであった。資料に水筒の写真が掲載されているが、水筒の裏にステッカーが貼られており、それにビールと記されていた。それで最初の発見者はビール缶と思ったのではないかと考える。

○桃原功 委員 警察の現場検証でも中身は水であったという確認はとれているのか。

○基地渉外係長 資料には中身は水であったと記載してあるが、こちらは沖縄防衛局からの回答内容である。警察の現場検証も終了しておりその後の成分鑑定については引き続き警察で行われているものと認識しており、その結果についてはまだ情報

が入っていない。

○**桃原功 委員** 中身の確認は早急に行っていただきたい。次に、住民が午後 11 時ごろの帰宅時に発見したとのことだが、それが空から落下したとわかる防犯カメラ等の証拠があったのか。

○**基地政策部長** 防犯カメラに落下時の様子が記録されていた。

○**桃原功 委員** どの防犯カメラなのか。

○**基地政策部長** その家の所有者宅のカメラである。

○**桃原功 委員** もし防犯カメラに写っていなければ、米軍は報告を怠ったかもしれないという懸念がある。その点について見解を伺いたい。

○**基地政策部長** 9 時 40 分ごろ沖縄防衛局職員が到着し、現場を確認し、その後米側に照会をしたところ、10 時 10 分ごろ個人の水筒であると米側から報告があったと認識している。

○**桃原功委員** 米側から連絡があったのはいつごろか。

○**基地政策部長** 昨日の 10 時 10 分である。

○**桃原功 委員** 連絡が遅すぎる。安全運用管理の欠如を懸念している。なぜ落下から連絡までの時間がこれほど時間がかかったのか。それについては把握しているのか。

○**基地渉外係長** 連絡が遅れた原因については沖縄防衛局を通して米軍へ確認してまいりたい。

○**桃原功 委員** 23 日午後 11 時ごろに発見されて、翌日朝の検証となっているが、そのタイムラグの説明を伺いたい。

○**基地政策部長** 発見時が午後 11 時と夜中であり、高齢の住民の方もおられることからその点を考慮したものと考える。

○**桃原功 委員** 市長が昨日沖縄防衛局長へ抗議を行ったとあるが、米軍や在沖米国総領事へ抗議をしないのか。

○**基地政策部長** G 7 に対して調整したところ、11 月 29 日月曜日に予定している。

○**桃原功 委員** 米軍の隠蔽体質を考慮すると、米政府、在沖総領事にも二度と事故が起きないように強く抗議すべきと考える。

○**上里広幸 委員** 時系列の資料とあわせて確認したい。落下後、その翌日に防衛局から県に連絡があったという認識でよいか。

○**基地政策部長** 市より警察と沖縄防衛局に連絡したのが、24 日 9 時 20 分であり、その後、防衛局から県に対し事故について連絡した。

○**上里広幸 委員** 県はその報告を受け、市に対し何か連絡等はあったのか。

○**基地渉外係長** 県からは特に電話連絡等はなかったが、その後 11 時 30 分ごろに職員が現場に到着しており、立ち合いをした際に今後の状況等について意見交換をし

た。

- 上里広幸 委員 事件事故が起こるたびに抗議要請を行っているが、県は報告を受けて市に対して今後の対応等について連携を取っているのか。
 - 基地渉外係長 現場に到着した職員の話では、現在情報収集中とのことであった。
 - 上里広幸 委員 米側から直接事故について連絡はあったか。
 - 基地渉外係長 米側から直接の落下物の連絡はなかった。
 - 上里広幸 委員 市長は抗議要請を行っているが、明らかな事実確認というのはいかなるように行ったのか。
 - 基地渉外係長 抗議要請に至った経緯としては、現場立ち合いを行い、情報収集をし、事務所に残った職員が沖縄防衛局へ落下物について確認を行い、その後 10 時 10 分に防衛局を通じて米側から落下物についての回答があった。米側からは直接の連絡はないが、防衛局を通じての回答はあった。それを受け、その日の午後抗議要請を行ったものである。
 - 上里広幸 委員 米側が事故を認め、抗議要請を行っているが、それにもかかわらず落下後も普天間基地、ヘリコプターは運用していたが、それについて報告等があったのか。
 - 基地渉外係長 普天間基地が運用していたのは確認しているが、米側からはそれについての連絡等はない。
 - 桃原功 委員 水筒の中身について早急に確認をしてほしい。
 - 基地政策部長 確認され次第報告いたしたい。
- ※基地政策部担当者退出

-
- 知名康司 委員長 本件の取扱いについて各委員に伺いたい。桃原功委員。
 - 桃原功 委員 市長も昨日抗議をしており、議会としてもしっかりと抗議していくべきと考える。
 - 上里広幸 委員 和みクラブとしては抗議すべきと考える。
 - 柴田直樹 委員 米側も認めており、早急に取り扱うべきと考える。
 - 真喜志晃一 委員 公明党としては、県党本部が本日防衛局へ抗議に行くことから、市会派としても早急に取り扱って、時間をかけずに速やかに抗議へ行くべきと考える。
 - 桃原朗 委員 取り扱うべきと考える。
 - 宮城克 委員 取扱いに関しては、各会派と同意見であるが、会派内で意思確認をとるべきと考えるため、一旦会派持ち帰りとしていただきたい。時間をかけたくないという各会派の意見もあるので、今後の抗議の方法等を含めて持ち帰りとして

ていただきたい。

○上里広幸 委員 宮城委員からも意見があったが次回の委員会までに何を決定するかを諮ってはどうか。

○桃原功委員 議会も速やかに抗議をすべきと考える。また、第一報があったのは被害者からで、米側からではなかったことを考えると抗議すべきと考える。早急に行うべきと考えており、意見書等の案を作成している。よろしければ配付させていただき、取り扱いを含めて検討いただきたい。

○知名康司 委員長 意見書等の文案を配布してよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

○知名康司 委員長 では、意見書等の文案を配布いたします。取扱い及び文案について会派へ持ち帰って検討いただき、次回は11月29日の午後3時より委員会を開催いたします。

【協議結果】

取扱い及び文案について持ち帰り、次回は11月30日の午後3時に開催することに決定した。

○知名康司 委員長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻 (午後1時51分)